

令和2年度 事業報告

福井武司理事長のもと、佐野春仁校長・桐浴邦夫副校長体制により学校運営・広報活動また学校外での活動を通して本校の認知度を上げる努力を行っている。例のひとつとして建築科の卒業制作木工コースで宇治市より依頼を受けた「史跡宇治川太閤堤跡 覆小屋建築工事」を完遂させるなど目に見える活動を強化した。

2020年当初より新型コロナウイルスの感染が発生拡大し感染対策として入学式を中止とし、授業に於いても4～5月は休講もしくはリモート授業を行い、6月から学生を半分に分ける分散授業などの工夫しながら対面授業を行った。その後、6月8日より通常授業を再開することとなる。本校での新型コロナウイルス感染者は教員2名、学生1名であった。この影響により予定していた様々な行事(見学・市民講座・創立70周年記念式典など)が中止・延期となった。現在も感染予防に努め、朝いちばんと昼間部、夜間部入れ替わり時間に机、手すり等の消毒、登校時の検温、教室等の換気を継続して行っている。

このような状況下ではあるが、従来同様、本校教育方針である「**建築の基礎力を身につけ、伝統や木造建築を理解し、現代に生かすことのできる建築のプロフェッショナルを育てる**」に準拠し、「**京都・伝統・木造**」を前面に出して、他校との差別化を図っている。また、前記教育方針に加え、「伝統ある建築専門学校」を全国的にアピールすることで高等学校や地域において広報活動の強化を継続する。なお、退学者を減らす為、在校生に対するケアを継続して行った。また、ここ数年で、建築科の入学生で伝統や木造、大工といった学びを目指す学生が増えている。今後は本校教育方針をさらに強化、より意志を持った学生を集めることで本校の個性を強化し、特性を活かした教育を進め、磨きをかけていく。新型コロナウイルスのため、思うように高校訪問が実施できていないところではあるが、**高校・組合との連携アップ・同窓会組織の有効活用**など本校を知ってもらうための活動を引き続き進めていく。とりわけ組合・学園の連携をはかるための共同戦略会議に於いて提案された連携事業や工夫を実行し、活かしたい。

2020年度卒業生53名巣立つ

建築科35名、建築科二部18名が卒業。昨年同様、新型コロナウイルス感染予防対策のため、卒業式を規模縮小、時間短縮して行った。

小規模校ならではの手作り教育

従来通り、学生数の少ない小規模校の特性を活かし、学生と教職員が一体となって建築を学び、豊かな教養を持った社会人として巣立つことを目標に日々の学校運営を進める。授業は、建築の基礎をきめ細かく教授、二級建築士が持たなければならない知識の習得に努めた。加えて、実習・演習はもとより、各授業でも本校の特色である「**京都・伝統・木造**」を盛り込んだ授業を展開する。また、従前からの資格取得のための対策講座に加え次年度からは「**木造建築士**」取得を目指す「ゼミ」も開講。一人ひとりの個性を伸ばすゼミの開講、感性を伸ばし社会への適応力をつける課外活動なども積極的に進めた。さらに、学校生活に適応しにくい学生や不登校気味の学生への目配り、学力不足のための落伍者を最小限に食い止めるために、四半期毎に面談を行うとともに数学や力学の苦手科目克服の授業を工夫している。

昨年度より実施した建築科の卒業制作ゼミ化を今年度も継続。設計3コース、木工2コースに分かれ、それぞれ担当の先生に熱を入れて指導していただいた。とりわけ、今年度の建築科卒業制作木工コースでは前述のとおり宇治市より依頼を受けた「史跡宇治川太閤堤跡 覆小屋建築工事」を中心として、他に堀川茶室の作製を行った。

入学生の確保及び就職

入学生の確保

本校の教育方針を前面に掲げ、他校との差別化を図った学生募集を行った。

結果、2020年度の入学生は建築科では46名と昨年より7名増であったが、建築科二部では19名で昨年より5名減となった。伝統建築研究科では入門講座10名が受講した。

※参考（2021年度入学生は建築科48名（2名増）、建築科二部31名（12名増））

入学生確保のための実施事項

1. **オープンキャンパス**を21回開催した。（昨年23回）
 - ・新型コロナウイルス感染予防のため4・5月は開催できなかった。6月より再開したオープンキャンパスでは参加者に在校生を主体とする設計作品の紹介に加えて、初歩的な体験授業（木工体験、伝統建築見学体験、ミニ講義等）を行った。また、建築科二部の志願者を対象とした夜間の説明会を6回（昨年と同じ）開催した。（参加者24名、昨年参加者26名）
 - ・全参加者は141名（²⁰159名¹⁹176名¹⁸153名¹⁷154名¹⁶162名¹⁵99名）
 - ・感染予防により、オープンキャンパスへの参加者以外に個別訪問やリモートでの個別相談も増加傾向である。
2. **学校案内及びホームページ**には学校や学生の活動を紹介、特にホームページでは「建工祭」での堀川茶室制作風景や在校生へのインタビュー動画により、高校生や保護者等に関心を持ってもらえるよう、最新の情報をあげるようにする。
3. 新型コロナウイルスのため今年度は全く**高校を訪問**することができなかった。

就職指導

1. 令和2年度就職率は96.8%であった。（建築科 ^設4人^施7人^大10人^{進学}1人^他2人）
今後とも高い就職率が維持できるよう、就職ガイダンスや個人面談等、きめ細やかな支援体制の更なる向上を図る。
2. 令和2年度も245社とたくさんの求人いただいた。
（^{R1}246社³⁰244社²⁹258社²⁸285社²⁷245社²⁶284社²⁵237社²⁴155社）
例年どおり施工管理の求人が多く、設計・大工の求人開拓が必要である。
3. 京都の企業人、卒業生による「ミニレクチャ」を数回行い、業種の紹介・就職指導等を行った。

学校行事の実施

学園祭「建工祭」

11月1日（日）～3日（火・祝）の3日間、堀川の丸太町橋下に茶室を設置し、学園役員、市民講座会員、卒業生および近隣の方々にお茶をふるまった。新型コロナのためか参加者は例年より少なかった。その他、よしやまち校舎での餅つき（学内対象）を行った。

卒業制作展

3月5日（金）～3月7日（日）の3日間、昨年と同じ『大垣書店京都本店内「イベントスペース一催一」』にて開催。卒業生や書店を訪れられた方等、多数の方々に見ていただいた。例年行っている卒業式当日の卒業制作展示については新型コロナウイルス感染予防により中止した。

資格試験対策

1. 二級建築施工管理技術検定試験(学科試験)対策講座〔在校生 無料〕(担当: 齋藤)

昨年同様、齋藤先生が担当となり、回数も19回開講した。

- ・開講期間 9月29日～11月6日
- ・学科試験 11月8日
- ・受験申込者28名 受験者23名 合格者5名 合格率21.7% (全国合格率35.9%)
と今回は全国平均を下回った。(昨年合格率30.3% 全国合格率25.3%)

2. 二級建築士受験対策講座〔卒業後 有料〕(担当: 菅原・山口・渡邊・中)

- ・学科コース、製図コースを開講し合格率UPを目指した。
 - ①学科受講者 15名 合否判明者10名 合格者6名
合格率60.0% (全国41.4%) [昨年合格率81.3% (全国42.0%)]
 - ②製図受講者 19名 合否判明者14名 合格者10名
合格率71.4% (全国53.0%) [昨年合格率27.8% (全国46.3%)]

3. 3D-CAD講習〔在校生は無料〕(担当: 山口)

授業より一段進んだ3D-CAD上級コースの学習機会を与えるため夏休み中の夜間にリモートで5回開講。Autodesk RevitとTwinmotionというソフトを使って講習を行った。

(受講者 13名)

4. CAD検定〔在校生・一般 有料〕

「全国建築CAD連盟」の『建築CAD検定試験』を本校で行った。

- ・10月18日実施 (2級・3級実施)
 - 2級受験者…2名 合格者…0名
 - 3級受験者…0名 合格者…0名 本校生徒以外の受験者8名

就職に際し有資格者は有利である旨のPRを強化し、受験者数、合格者数を増やす必要がある。

市民講座

新型コロナウイルス感染予防のためすべて中止

見学

1. 春の見学 (中止) 明治村
2. 秋の見学 (中止)
3. 三十三間堂、上賀茂神社、東寺、醍醐寺、大報恩寺、 他
(建築科1年 伝統建築演習)
4. 醍醐寺・平等院・宇治神神社、妙心寺・北野天満宮・大報恩寺・浄福寺、蘆花浅水荘 他
(伝統建築研究科 入門講座)
5. その他、設計製図、施工、設備、町家ゼミ等で見学あり

高等教育の修学支援新制度について

しっかりとした進路への意識や進学意欲があれば、家庭の経済状況に関わらず、大学や専門学校に進学できるチャンスを確保できるよう、文部科学省による、高等教育の修学支援新制度が令和2年4月から実施され、本校も対象校となる。